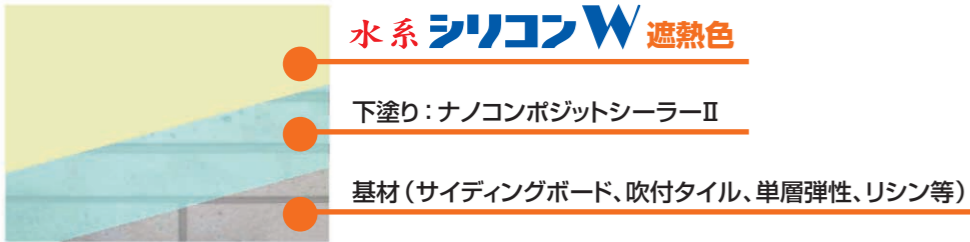


遮熱工法

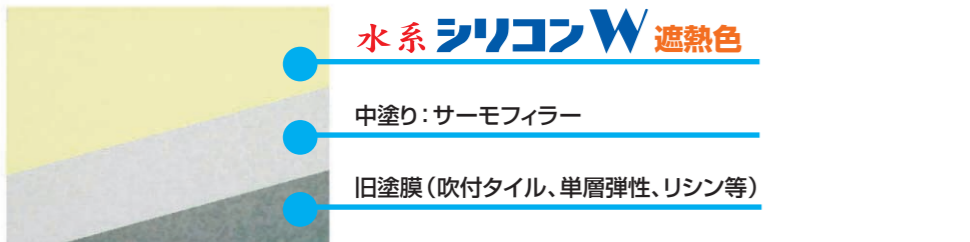
※サイディングボードは、サーモフィラーを塗装できませんので遮熱工法以外の施工になります。



工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンポジットシーラーII 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
上塗り	水系シリコンW遮熱色 15kg	0~1.5kg	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12~0.16	47~62	2h以上	—	24h以上

※塗付量に清水は含まれていません。 ※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。

遮熱ハイ工法



●旧塗膜に劣化がない場合

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
中塗り	サーモフィラー 10kg	0~0.2kg	砂骨ローラー 中毛ウルローラー	1 2	0.7~1.0 0.35~0.5	10~14	—	2h以上	16h以上
上塗り	水系シリコンW遮熱色 15kg	0~1.5kg	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12~0.18	47~62	2h以上	—	24h以上

※塗付量に清水は含まれていません。 ※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。
※サイディングボードには適用できません。

●旧塗膜に劣化がある場合

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンポジットシーラーII 15kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.2	75~150	—	2h以上	—
中塗り	サーモフィラー 10kg	0~0.2kg	砂骨ローラー 中毛ウルローラー	1 2	0.7~1.0 0.35~0.5	10~14	—	2h以上	16h以上
上塗り	水系シリコンW遮熱色 15kg	0~1.5kg	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12~0.18	47~62	2h以上	—	24h以上

※塗付量に清水は含まれていません。 ※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。
※サイディングボードには適用できません。

● 荷姿

水系シリコンW 15 kg 4 kg

水系シリコンW遮熱色 15 kg 4 kg

ナノコンポジットフィラーN 16 kg

サーモフィラー 10 kg

ナノコンポジットシーラーII 15 kg

● 注意事項

【仕様全般】

- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がりに不良等が起こりますので注意してください。
- 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
- ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
- 酸洗いをを行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は急入りにしてください。
- 著しく劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性が劣るため、塗装は避けてください。
- 1回目の上塗り塗装時に、吸い込みが大きく、塗料が表面に残らない場合は、再度塗装してください。(合計3回塗りで仕上げてください)
- 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
- 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
- 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますので注意してください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。

- 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
- 排水溝には捨てないでください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- 使用前には十分攪拌してください。
- サーモ色(遮熱色)の塗付量不足は、熱反射率や耐久性が低下しますので、塗付量を厳守してください。
- サーモ色(遮熱色)は、塗付量が少なくと色相が違って見えたり、十分に隠ぺいしないことがありますので、塗付量は厳守してください。
- 遮熱効果は色相によって異なります。
- 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
- 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。
- 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本 社	☎532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3151 FAX(06)6393-1101
東日本開発部	☎101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本ビル	☎(03)3865-8177 FAX(03)3865-8760
東京支店	☎348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎(048)563-0355 FAX(048)563-5124
北関東支店	☎486-0815 愛知県春日井市十三塚町字十三塚3030-38	☎(0568)85-3551 FAX(0568)85-3556
中部支店	☎532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90	☎(06)6391-3401 FAX(06)6391-3456
西日本開発部	☎761-0101 高松市春日町1412-5	☎(087)841-4491 FAX(087)843-5304
大阪支店	☎734-0022 広島市南区東雲1-13-16	☎(082)284-6556 FAX(082)283-0017
高松事務所	☎611-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原2628-1	☎(092)611-5731 FAX(092)621-2301
広島支店	工 場	本社・埼玉・中部・広島・福岡
福岡支店	北海道ミスタニ販売株式会社	☎003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 ☎(011)824-5711 FAX(011)824-6464

塗料に関するご質問、お問い合わせは…

塗料相談室 ☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00~12:00 午後 1:00~4:30



アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗料



外壁用



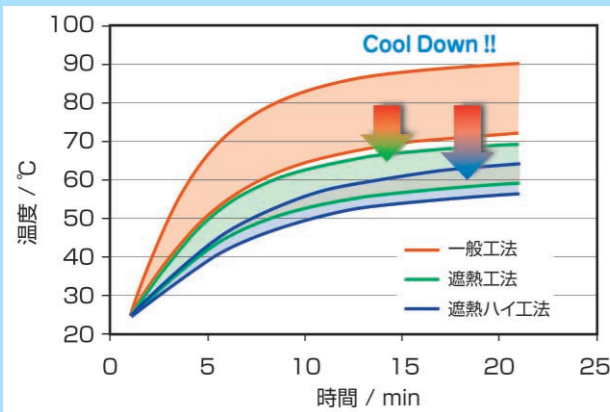
特約店

遮熱工法 水系シリコンW 遮熱色

猛暑を乗り切る手段
快適な住まいに。

優れた遮熱効果

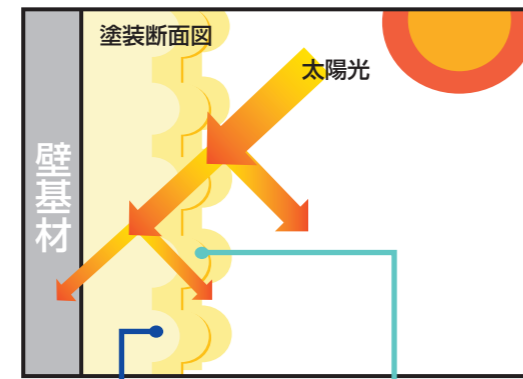
遮熱工法、遮熱ハイ工法の赤外線ランプ試験結果



赤外線ランプ試験：赤外線ランプから25cmの距離にテスト塗板を設置し、そのテスト塗板裏面の温度を測定。

一般塗料に比べ、遮熱工法では約15℃、
遮熱ハイ工法では20℃の遮熱効果がありました。
※色により効果は変わります。

W遮熱効果



遮熱機能+α
サーモフィラー
断熱・防音機能がある
中塗り塗料

遮熱機能
水系シリコンW遮熱色
赤外線を効率よく反射する
上塗り塗料

遮熱色の提案

※ 遮熱色はご提案色のみ販売となり、調色はおこなっていません。(一般色は調色可能です)
※ 一般色はナノコンボジットWカラーカードを参照ください。

サーモW-1 日射反射率1 67.7% (50.5%) 日射反射率2 81.5% (47.4%) 明度 80.2	サーモW-2 日射反射率1 56.9% (38.9%) 日射反射率2 74.8% (38.6%) 明度 70.3	サーモW-3 日射反射率1 57.5% (40.3%) 日射反射率2 74.6% (39.5%) 明度 72.1	サーモW-4 日射反射率1 65.7% (53.2%) 日射反射率2 78.1% (54.8%) 明度 80.6
サーモW-5 日射反射率1 48.4% (25.1%) 日射反射率2 70.9% (22.8%) 明度 59.9	サーモW-6 日射反射率1 47.5% (40.3%) 日射反射率2 68.0% (27.9%) 明度 60.7	サーモW-7 日射反射率1 41.9% (22.8%) 日射反射率2 62.4% (23.0%) 明度 56.3	サーモW-8 日射反射率1 32.5% (14.1%) 日射反射率2 54.8% (13.4%) 明度 41.9

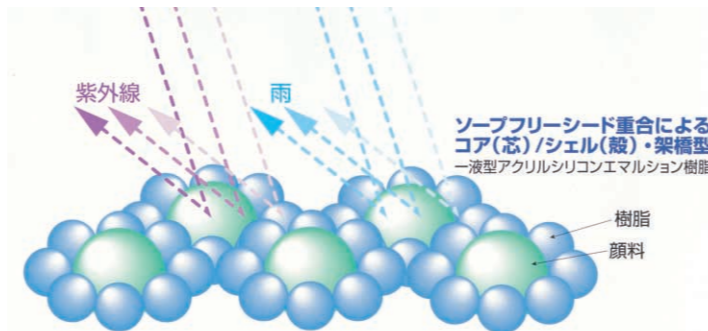
※日射反射率算出方法は、「JIS K5602」に準じています。()内の数字は比較として一般色の場合の日射反射率を表しています。
日射反射率1：全波長域(300～2500nm)の日射反射率。
日射反射率2：近赤外波長域(780～2500nm)の日射反射率。
注)この色見本は印刷によるもので現物とは差があります。発注の際は色見本帳または、塗り板で色を確認してください。

アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗料

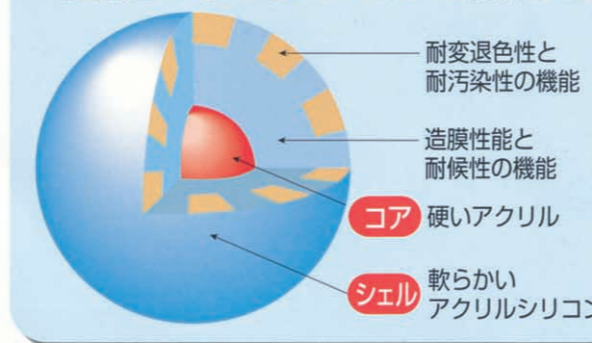
水系シリコンW



もっともっと水に近づくこと、それは
地球と人にやさしくなれる一歩です。

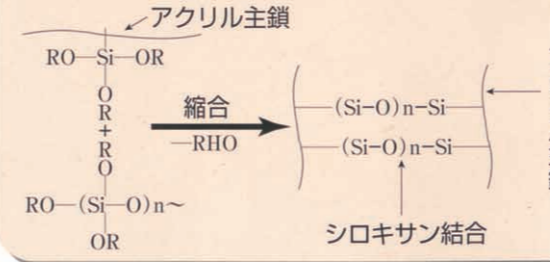


一液架橋型アクリルシリコンエマルジョン樹脂モデル



シロキサン結合とは…

アクリルエマルジョン塗料のアクリルポリマーに、結合エネルギーの大きいシロキサン結合で架橋させているため、優れた耐候性を示します。



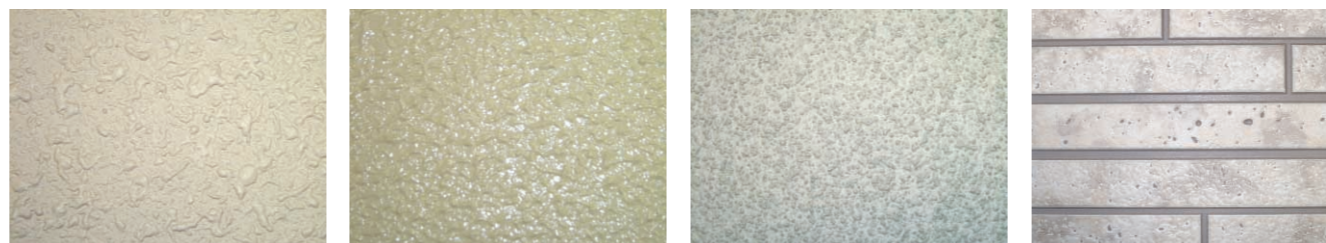
水系シリコンWの用途

※屋根には水系ナノシリコン遮熱色を提案します。

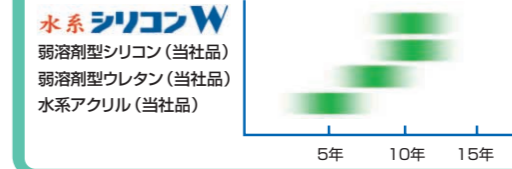
- 窯業系サイディングボードの塗り替え
- 複層仕上塗材の塗り替え
- 薄付け仕上塗材の塗り替え

モルタル、コンクリート面への新規塗装は当社営業担当者に相談ください。

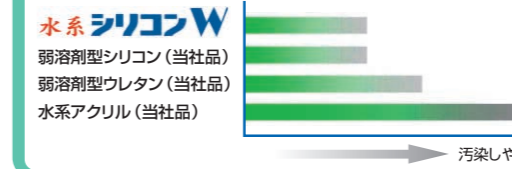
【吹付タイル(複層仕上塗材)】 【単層弾性(薄付け仕上塗材)】 【リシン(薄付け仕上塗材)】 【窯業系サイディングボード】



●期待耐久年数



●耐汚染性比較



超耐久性

アクリルシリコン樹脂の連続塗膜が、酸性雨などから建物を守り、耐久性を格段に向上させます。

防カビ・防藻性

外壁の美しさを損ない劣化を促進させるカビや藻の発生を長期間にわたって防ぎます。

低臭・無公害

水系なので、臭いはもちろん有害物質を揮発することもありません。

耐変色性

長期間色あせせず耐変色性に優れた
変色しにくい塗料です。

時間がたてばたつほど色あせる一般アクリルエマルジョン塗料。しかし水系シリコンWはそれに比べ約2倍長持ちし、塗ったときの鮮やかな色彩を長期間にわたって維持します。

耐汚染性

強靱で柔軟性に富み
耐汚染性に優れた塗料です。

汚染される度合いも塗料にとっては大きな問題。耐汚染性で見ても水系シリコンWは一般アクリルエマルジョン塗料の約2分の1、溶剤系ウレタン塗料の約3分の2といったすぐれた性能です。

高い安全性

水系なので、火災の危険が減少すると同時に作業者の労働環境も向上します。

速い乾燥性

水系でありながら、比較的速い乾燥性を持っています。

容易な作業性

ローラー、ハケ塗り、スプレー等、いずれの方法でも塗装が容易です。

一般色の塗装仕様

●旧塗膜に劣化がない場合

工程	使用塗料	希釈割合(清水)	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンボジットフィラー-N 16kg	0.2~0.7kg	砂骨ローラー	1	0.8~1.2	13~20	-	16h以上	-
上塗り	水系シリコンW 15kg	0.5~1.0kg	中毛ローラー	2	0.3~0.5	32~53	-	-	-

※塗付量に清水は含まれていません。 ※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。

●旧塗膜に劣化がある場合

工程	使用塗料	希釈割合(清水)	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンボジットシーラー-II 15kg	既調合	ハケローラー	1	0.1~0.2	75~150	-	2h以上	-
中塗り	ナノコンボジットフィラー-N 16kg	0.2~0.7kg	砂骨ローラー	1	0.8~1.2	13~20	-	16h以上	-
上塗り	水系シリコンW 15kg	0.5~1.0kg	中毛ローラー	2	0.3~0.5	32~53	-	-	-

※塗付量に清水は含まれていません。 ※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。

●パターンを変えない場合、サイディングボードの場合

工程	使用塗料	希釈割合(清水)	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンボジットシーラー-II 15kg	既調合	ハケローラー	1	0.1~0.2	75~150	-	2h以上	-
上塗り	水系シリコンW 15kg	0~1.5kg	ハケローラー	2	0.12~0.16	47~62	2h以上	-	24h以上

※塗付量に清水は含まれていません。 ※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。